



学園ニュース

2005年 文化祭『ぬくびき祭』開催!

去る平成17年11月3日、少し冷たい風も吹く中、恒例の森ノ宮医療学園文化祭『ぬくびき祭』が開催されました。今年は全学生数900人という本校創立以来最大規模での開催となり、多くの学生やその家族、友人そして地域の方々の参加もあって大盛況となりました。

今年は、テーマを『わ』とし、この文化祭を通して学科、学年を問わない学生同士での交流、先生方との交流、そして日頃お世話になっている地域の方々との『わ』を深められるきっかけになれば…という想いを込めました。

当日は本館校舎とアネックス校舎にて各クラス、クラブからの様々なイベントが催され、また模擬店が多数出店されました。本館校舎では2人の占い師の方による占いコーナー、先生によるバンド、TVゲーム大会、小さなお子さん向けにダーツや射的、そしてクラス対抗しり相撲大会が行われました。各イベントとも大変な盛り上がりを見せ、特にクラスメイトを応援する学生の姿がとても印象的でした。他にも、古典研究会による軟膏の配布、中国伝統医学文化研究会による毎年恒例の水餃子の出店もあり、今年もまた伝統の味を多くの方に知っていただけたように思います。



玉子せんべい!?!に舌鼓(アネックス校舎)

鍼灸学科 アドバンスコース2年生 嵯峨山綾子(学生会)

アネックス校舎では剣道部、合気道部、太極拳部が演舞を披露し、日頃の練習の成果を皆さんに見ていただきました。鍼灸、柔整両学科の先生方による模擬店はいずれも行列ができるほどの賑わいで、毎年人気のおはぎ、焼そばをはじめ、豚汁、うどん、ステーキ、串焼き、ミルクせんべい、おでん、肉まん、フランクフルト等に皆さん満足の様子でした。またゲストパフォーマーとしておおさわはてるさん、豊来家一輝さんにそれぞれバルーンショーと和物曲芸を披露していただきました。バルーンショーではみるみるうちに風船が可愛い動物に変化していく様子に子供達が目を奪われ、今年のテーマ『わ』にちなんだ『和』物曲芸では多くのスリル満点な芸に拍手や歓声が湧き上がっていました。



子供たちに人気のダーツ(本校舎)

今回、文化祭を記念し、各模擬店に募金箱を設置したところ5万円の募金がありました。この募金は8月に急逝された森 秀太郎先生のご意志を受け継ぎ、地域貢献のため東成区役所に寄付しました。最後になりましたが、文化祭開催にあたり、各クラスの実行委員としてご尽力くださった皆さんをはじめご協力くださった全ての方に深く感謝いたします。本当にありがとうございました。

『第3回 就職相談会』を終えて…

教務部 学生支援課 川鍋史一

昨年と同様、今年も学園祭開催時の午前中に実施しました。過去2回、昨年の学園祭時、そして卒業式後の3月19日(土)に実施していますが、いずれも求人先の先生方の参加数は50~60件でした。そこで今回は、当初7階講堂の1会場のみでの実施を計画し、70件の応募を見込み、先着順で打ち切る予定を立てました。ところが、いざ蓋を開けてみると100件以上の申込みがあり、断りを申し出ると、「廊下でもいいので…」「会場の隅で立ってでもいいので…」という先生方の熱意に押され、急遽6階教室の会場を増やし、最終的に112件の求人先を受け入れました。

前回、前々回の反省を踏まえ、今回は両学科の3年生には予め「就職相談会」の趣旨や活用方法、利用方法をレクチャーし意識付けを行いました。当日の3年生の参加は思ったほどではなく、お越しいただいた先生方に対する終了後のアンケートでも「学園祭と同日開催に無理があるのでは?」という意見が寄せられました。ただ全学生が一堂に会する日は年間を通じてこの日以外にはなく、開催日時の難しさを改めて痛感する結果となってしまいました。「就職相談会」単独での実施をすると、昨年3月の実施時のように求職学生の参加数が極端に少ないという結果を見ているだけに、今後の展開を根本から見直して実施すべきかとも思われます。

また“求人先のブースに求職者が出向いて行く”という世間一般で行われている就職相談会と同様の方式についても、「待っている時間が無駄」という意見があったように、“就職する”という概念自体が希薄なこの業界では、ご理解いただくのにまだまだ時間がかかるように感じています。我々学校関係者も同様の方式による進学相談会にブース費用を支払って出っていますが、今後その辺りの“募集する”という概念の差を縮めていかなければならないと思っています。

とはいっても、この「就職相談会」を通じて職場を得、現在就労している者も少なくはなく、今年度の卒業生の何名かも既に4月からの勤務先を決めて国家試験に臨んでいることを考えると、実施することの意義は高く、今後より一層の充実を目指していかなければならないと痛感しています。

